共 同 研 究 申 込 書（記入例）

○○○○年○○月○○日

国立大学法人神戸大学〇〇研究科長　殿

　（申込機関）

兵庫県神戸市中央区○○町1-2-3

△△△△株式会社

研究開発部　部長　　○○　○○　　　印

神戸大学共同研究取扱規程を遵守のうえ、下記のとおり共同研究を申込みます。

記

１．研究代表者

○○研究科　○○専攻　○○講座　教授　○○　○○

２．研究題目

○○について

３．研究期間

○○○○年○○月○○日～○○○○年○○月○○日

４．研究に要する経費（税込み）

総額をご記入下さい。

○○○○円（内間接経費○○○○円）

５．申込機関の研究代表者及び研究担当者の氏名等

研究代表者：○○　○○

研究担当者：○○　○○、○○　○○、※○○　○○

（注）共同研究員として神戸大学へ派遣する場合には氏名に※印を付してください。

次ページの表より選択下さい。

６．研究分野区分

ライフサイエンス　/　情報通信　/　環境　/　ナノテクノロジー

物質・材料　/　エネルギー　/　宇宙開発　/　海洋開発　/　その他

　　　　　※文部科学省の調査に利用します。不明な場合は空欄でご提出ください。

７．その他参考事項（省庁等から補助金等を受けられた場合は，制度名称等をご記入ください。）

特別試験研究費税額控除制度の利用が可能です。

　「特別試験研究費の確認に関する報告書」の作成を希望される場合はご連絡ください。

　　特別な管理を必要とする営業秘密情報\*の提供　　有　□

\* 「営業秘密情報」とは、経済的に有用であり非公知な秘密管理下にある情報をいい、不正競争防止法及び共同研究契約書により保護されます。本研究で本学に開示する営業秘密のうち、通常の営業秘密よりも特別な管理を必要とする情報が有る場合は、上記□にチェックを入れてください。

研究過程で開示する場合は、都度お申出ください。該当がある場合は別途申込書を作成いただき、打合せのうえ管理方法を決定します。なお、管理費用の一部負担をお願いする場合があります。

【研究分野区分】

|  |  |
| --- | --- |
| ライフサイエンス | 生命現象・生物機能を解明する基礎的研究から、実験生物、保健・医療に関する研究、環境保全、生物の工業利用、食料資源の開発、生物によるエネルギー開発など、生命科学に係る研究を幅広くとらえていいます。また、生命倫理や法制度など関連する人文・社会科学的な研究も含みます。 |
| 情報通信 | 集積回路や電子機器材料などハードウェアに関する研究開発、データ通信技術やソフトウェア（OS 等システムプログラムのみでなく、アプリケーションも含む。）に関する設計開発のほか、画像処理、暗号・認証技術や遠隔医療診断など情報処理技術の利用法に関する研究、ネットワーク高度化技術の研究、高度コンピューティング技術の研究、ヒューマンインターフェース技術の研究などをいいます。（ＩｏＴ、人工知能（ＡＩ）を含みます。） |
| 環境 | 自然環境保護、環境汚染対策を目的とする自然科学的研究のほか、環境税制、都市計画、社会制度（ゴミの回収等）など環境問題に関連する人文・社会科学的な研究も含みます。いわゆる省エネに関する技術も広く含めます。 |
| 物質・材料 | 情報通信や医療等の基盤となる原子・分子サイズでの物質の構造及び形状の解明・制御や、表面、界面等の制御等の物質・材料技術、及び省エネルギー・リサイクル・省資源に応える付加価値の高いエネルギー・環境用物質・材料技術、並びに安全な生活空間を保障するための安全空間創成材料技術等に関する研究をいいます。 |
| ナノテクノロジー | ナノ（10 億分の1）メートルのオーダーで原子・分子を操作・制御すること等により、ナノサイズ特有の物質物性等を利用した新しい機能を発現させる研究等をいいます。具体的には、ナノレベルで物質構造等を制御することで、超高強度化、超軽量化、超高効率発光等の革新的機能を有するナノ物質・材料、超微細化技術や量子効果の活用等により、次世代の超高速通信、超高速情報処理を実現するナノ情報デバイス、体内の患部に極小のシステムを直接送達し、診断・治療する医療技術、様々な生物現象をナノメートルレベルで観察し、そのメカニズムを活用し制御するナノバイオロジーなどの研究開発をいいます。 |
| エネルギー | 化石燃料、地熱・太陽・風力・海洋・生物等の自然、原子力などエネルギー源の開発に関する研究（特殊な材料など周辺技術も含みます。）と、エネルギー消費の効率化（いわゆる省エネ）に関する研究をいいます。また、炭素税などエネルギー問題に関連する人文・社会科学的な研究も含みます。 |
| 宇宙開発 | 衛星搭載機器、宇宙用耐熱材料、衛星通信、衛星写真の解析による資源探査など、宇宙空間の利用に関係する研究を幅広くいいます。ただし、天体観測や宇宙線の観測など、天文学に属する学術的な研究は含みません。 |
| 海洋開発 | 魚介類の養殖、海洋生物資源の調査計測、海底油田探査技術、海水からの金属抽出、潮汐発電など、海洋を利用することを目的とする研究を幅広く含めていいます。ただし、船舶など海上輸送機器の設計開発は除きます。 |